

教材教具名	プットイン (ストロー)	分類	操作 ★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手指の巧緻性を高める。</li> <li>• 手元を注視する力を伸ばす。</li> </ul>		

教材教具の概要



<使用方法>

- ストローを一本ずつ入れていく。

<材料>

- ストロー (プラスチックストロー)、容器

<工夫点>

- 普通のストローでは、力加減が難しかったため、硬いプラスチックストローを使った。

<使ってみてよかったところ、効果>

- 力加減が難しい児童でも、一人でプットインすることができた。

教材教員名	プットイン (ペットボトルキャップ)	分類	操作 ★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手指の巧緻性を高める。</li> <li>• 穴をよく見るなど、注視力を高める。</li> </ul>		

教材教具の概要



<使用方法>

• 穴をよく見て一つずつプットインをする。数字を見て、順番通りに入れたり、マジックテープでつなげたり、外したりもできる。

<材料>

• 容器、ペットボトルキャップ、ビー玉、フェルト、マジックテープ、裁縫道具

<工夫点>

• ただのプットインとしても使えるが、数字の要素を入れたり、マジックテープを付け、工程を増やしたりなどと、実態応じて使用できるものにした。

<使ってみてよかったところ、効果>

• プットインだけでなく、数字を並べたり、マジックテープでつなげたりといろいろな方法を自分で考えながら使っていた。

教材教員名	引っ張る	分類	操作 ★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手指の巧緻性を高める。</li> </ul>		

教材教具の概要



<使用方法>

- ペットボトルをおさえながら、中のものを引っ張り出す。

<材料>

- フェルト、綿、ひも、ペットボトル、裁縫道具

<工夫点>

- 綿をきつめに入れ、引き抜くとポンッと音が鳴るようにした。

<使ってみてよかったところ、効果>

- 多少力が必要なので、はじめは難しそうだったが、慣れてくるとペットボトルをおさえて、引き出すことができるようになった。

教材教員名	回転式スタンプ	分類	操作 ★
		授業名	作業班：紙工（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上から押さえる動作だけでスタンプをきれいに押すことができる。</li> <li>・手指の細かな動作で濃淡を調整することなく、スタンプが押せる。</li> <li>・途中でインクを使用することなく、連続してスタンプを押すことができる。</li> </ul>		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・紙を下に敷き、上から押さえる

<材料>

- ・回転式スタンプ（済）
- ・代わりに張り付けるデザイン性のあるスタンプ

<工夫点>

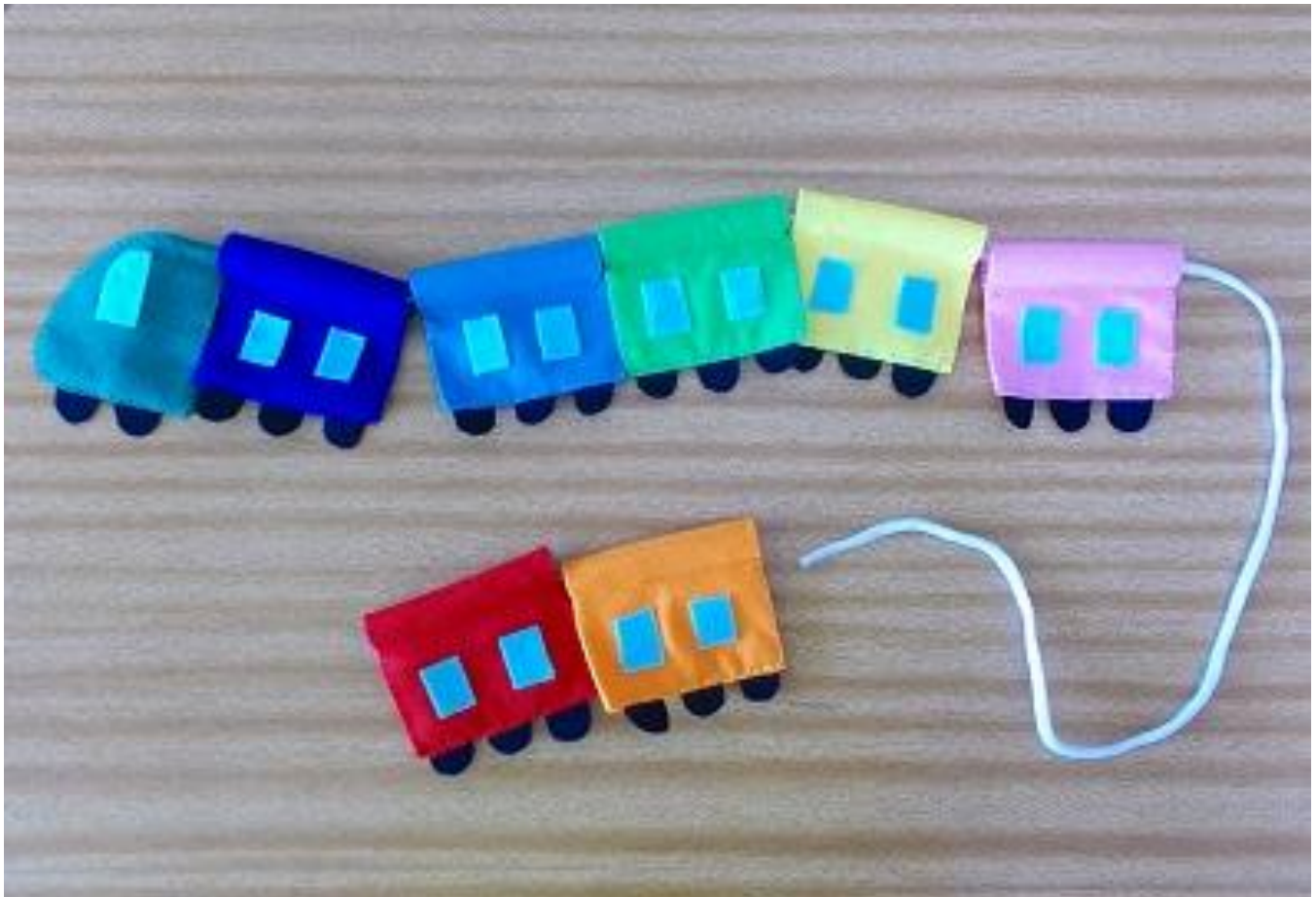
- ・市販の事務用回転式スタンプのゴム印の部分のみ変えることで簡単に製作可能

<使ってみてよかったところ、効果>

- ・通常のスタンプではインクのつけすぎ等で製品として不備なものがでてしまっていたが、回転式スタンプを使うことで濃淡を気にせず作業を行うことができた。
- ・手指の細かな調整を必要としないので、取り組むのが難しかったスタンプ押し作業に取り組めるようになった。

教材教具名	ひも通し(電車)	分類	操作 ★
		授業名	個別課題学習(小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手指の緻巧性を高める。</li> <li>• 集中力を保ちながら最後まで活動する。</li> </ul>		

教材教具の概要



<使用方法>

- 一つずつひもを通し、電車をつなげる。

<材料>

- フェルト、ひも、チューブ、セロハンテープ、グルーガン

<工夫点>

- 裁縫が苦手な方はグルーガンがあれば、できます!!!

教材教具名	積み木の穴通し	分類	操作 ★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手先の巧緻性を高める。</li> <li>• 形の違いに注目して分けることができる。</li> </ul>		

教材教具の概要



<使用方法>

- ①学習机に土台を貼り付けたゴムベルトを固定する。
- ②積み木をひとつずつ手渡し、穴を通しながら重ねる。
- ③はじめは1種類の形から取り組み、徐々に種類を増やす。

<材料>

- 積み木玩具 (既製品)、ゴムひも、マジックテープ

<工夫点>

- 土台を用意し固定できるようにした。
- レベルアップ (徐々に種類を増やすこと) もできる工夫をした。

<使ってみてよかったところ、効果>

- 土台、積み木共に注視するようになった。